

研究実績報告書

学校名 沖縄県立嘉手納高等学校

I 調査研究の期間

令和5年4月1日～令和6年3月31日

II 研究主題

SDGsの視点で取り組む地域と学校による双方向の連携協働の研究と実践

III 研究主題の設定理由

本校では、県内中部地区唯一の総合学科校として、地域の教育資源を活用した教育活動を通じて、地域の未来を創造する意欲を持った生徒の育成を目指している。また、各教科や各分掌でキャリア教育に資する取り組みを多く行い、生徒一人ひとりの夢や目標への挑戦を通して社会人としての資質・能力を身に着けた生徒の育成を使命としている。生徒は、これらの学びの中で、自己の在り方・生き方を考えながら、社会的、職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を身につけようとしている。

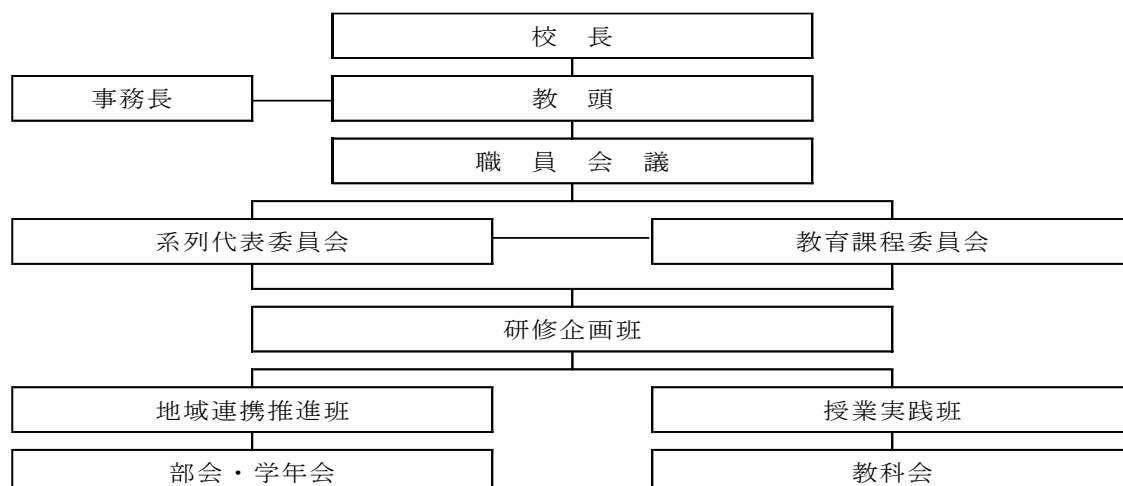
これまでに、本校では「産業社会と人間」と「総合的な探究の時間」を有機的に結びつけることで、3年間の学びの「縦軸」を形成してきた。また、各教科の学びを貫くものとしてSDGsの視点を導入し、教科横断的な学びを実践する「横軸」を取り入れることで、生徒の自己肯定感や主体性を培ってきた。そして、これらの教育活動を通して、地域連携を一層強化してきた。今後は、校内での学びを校外（地域社会・保護者・未来の高校生）に「発信」することにより、「嘉手納高校生からの地域貢献のベクトル」と、「地域社会からの学校への関心・応援のベクトル」を循環させ、この仕組みを持続的に展開しつつ、生徒の学びが地域貢献につながる教育課程を編成していきたいと考え、本テーマを設定した。

IV 研究の内容

1 研究方針

- (1) 本研究指定をカリキュラム・マネジメントの中に位置づけ、全職員体制で取り組む。
- (2) ESD カレンダーを作成し、すべての教科の中で、「SDGs」の観点を導入した授業を実践する。
- (3) 各授業、特別活動、課外活動等の中で、地域と連携した取り組みを実践する。

2 研究組織



3 研究計画

| 時期 | 研究内容 |
|-----|---|
| 4月 | 研究組織発足 |
| 5月 | 嘉手納町内彩（いろどり）プロジェクト開始 |
| 6月 | 沖縄研究×藍染め授業 野國總管祭り企画運営部会（第1回～第5回） |
| 7月 | 第1回県外先進校視察（東京都・福島県） |
| 8月 | 職員研修（学校と地域が連携した防災教育についての研修） 嘉手納町内彩（いろどり）プロジェクト（1年生地域清掃） 野國總管祭り企画運営部会（Tシャツ作成） |
| 9月 | 1学年EM団子作成、SDGs講話隊（高嶺中） 野國總管祭り企画運営部会（第6回） |
| 11月 | SDGs福島研修旅行、1学年EM団子比謝川投入 校内ミニデイサービス 化学基礎×藍染め授業 第2回県外先進校視察（九州総合学科研究大会 愛知大会） |
| 12月 | SDGs講話隊（屋良小） 最終報告会（嘉手納高校総合学科発表会 12.17 実施） |
| 1月 | 服飾手芸×藍染め授業 美術Ⅲ×藍染め授業 ESDカレンダー完成 嘉手納町内彩（いろどり）プロジェクト（1年生地域清掃） |
| 2月 | 嘉手納町内彩（いろどり）プロジェクト（3年生地域清掃） 嘉手納町内彩（いろどり）プロジェクト（3年生屋良城趾清掃） 第3回県外先進校視察（大分県・福岡県） SDGs講話隊（赤道小） |

| |
|---|
| <p>【研修企画班】 ◎喜屋武 三奈 石川 睦 長嶺 由人 加治工 陽子 宜次富 薫</p> <p>①職員研修の立案・運営 ②先進校視察の立案・運営 ③予算執行</p> |
| <p>【地域連携推進班】 ◎石川 睦 新田 誠 浦添 広志 城間 美和</p> <p>①地域での学習活動のフィールド開拓 ②特別活動での取り組み ③課外活動での取り組み</p> |
| <p>【授業実践班】 ◎池村 愛香 石川 睦 島袋 あすか 喜納 啓雄 喜屋武 三奈</p> <p>①校内公開授業の立案・運営 ②公開研究授業の立案・運営 ③最終報告会の調整</p> |

4 研究実践

(1) SDGs の観点を導入した授業実践

1年生を対象に、キャリア教育コーディネーターの青山真紀氏を招聘し、EM 団子作成を行い、比謝川へ投入した。この取組は比謝川を EM（有用微生物群）で浄化することで、人と自然の共生社会を創る沖縄の人材育成を狙いとしている。今年度は希望者から学年全体と対象を拡大し、実施した。また、教科横断的な学び・地域連携として、地域の高齢者を学校へ招き、校内ミニデイサービスを実施した。幕開けでは、琉球舞踊を受講している生徒による「かぎやで風」、沖縄の音楽を受講している生徒による三線を披露した。また、福祉系列の2、3年生がハンドマッサージ、背中さすりを行い、家庭科・生活園芸・陶芸・書道の生徒が作成したお年玉袋やマグカップ、観葉植物を販売する嘉高ミニミニ商店も実施した。多くの科目が関わる行事であったが、高齢者の方々と積極的に交流する生徒も多く、卒業後の福祉活動や学習につながる機会となった。

(2) 地域資源を活用した授業実践

嘉手納町おりひめ会の砂川初子先生を講師として招聘し、各科目で藍染め実習を行った。各教科からの視点を持った専門的な授業を取り入れてもらい、伝統工芸に関わり、地域を見つめる生徒を育てることができた。今年度は、沖縄研究（社会）、服飾手芸（家庭科）、化学基礎（理科）、美術Ⅲ（芸術）で実施した。また、嘉手納町の野國總管祭り企画運営部会に週一で参加し、祭りへの企画・運営に関して提案や企画を行った。さらに、夏休みに I D A（インターナショナルデザインアカデミー専門学校）協力のもと、Tシャツを作成し、広報活動を行った。地元の祭りへ企画・運営から関わることで、主体性が伸張したと思われる。

(3) 嘉手納町内彩プロジェクト（農業×特別活動×地域連携）

「生活園芸」（農業科）で育てた花木を、屋良城跡公園の花壇に植える取り組みを実施した。今年度は堆肥として、E F ポリマー（自然堆肥）を使用しているため、O I S T より講師を招聘し、出前講座を行った。また、LHR の時間を使って、各クラス年 1 回以上公園の清掃活動を実施した。授業で使用している教材を深く学習することで、利用意義を理解し、より環境への意識も高まったと思う。今後も学校全体の取組として継続していきたい。

(4) 防災教育の視点を取り入れた研修旅行

東日本大震災の被災地へ行き、津波や原発について学ぶとともに、嘉手納町の防災について考える機会として、福島県の相馬市・双葉町へ訪問した。また、相馬総合高等学校との交流を通して、沖縄県とは異なる文化についても学ぶことができた。今後も学習を継続して、SDGs 防災隊を結成し、地域へ還元する講演活動を行う予定である。

(5) SDGs 講話隊

今年度も、前年度に引き続き、情報モラルをテーマに、県内の小学校・中学校を対象に、本校生徒による出前講座を実施した。1, 2年生合わせて19名が参加し、今年度は前年度の課題を踏まえ、より児童が授業へ入り込めるよう、手作りの紙芝居を活用して、ネット上で拡散された情報は元には戻せないことを分かりやすく説明した。

【出前授業実施校】

嘉手納町立嘉手納小学校 嘉手納町立屋良小学校
糸満市立高嶺小学校

(6) ESD カレンダーの作成

各教科で行っているSDGsの視点を取り入れた授業を各学年に分け、時系列に単元を配列したESDカレンダーを作成した。これにより、他教科との連携がよりいっそう進むことが期待できる。

(7) 同窓会との連携（トークショーの実施）

12月17日（日）に実施した総合学科発表会において、40周年創立記念として、タレントの瀧花氏、RBC琉球放送アナウンサーの比嘉俊次氏、学研CAIスクール代表取締役玉利謙章氏を招聘して、校長先生とのトークショーを行った。次年度からは、地域で活躍されている、事業所との連携授業が継続して行われることになっている。地域には社会で躍動している多くの卒業生がいる。こうした地域資源を今後も積極的に活用していきたい。

IV 研究の成果と課題

1 成果

- ①スモールステップを意識した発表（グループ→学級→学校全体）を設けることで、目的や場に応じた説明ができるようになった。
- ②地域と関わり、学校で学んだことを発信していくことで、自己肯定感が高まり、自己の在り方・生き方を考え、自己実現を図る力を育むことができた。
- ③SDGs 実現に向けた取組を3年間通すことで、主体性が高まり、新たな価値観や行動変容をみることができた。

2 課題

- ①調べ学習にとどまり、探究活動にまで至っていない生徒もいる。
- ②生徒のキャリア・進路観の形成に十分につなげていない。
- ③2年生における、さらなる充実のため、時数の確保が課題である。